

## 盛岡市内の主な遺跡と時代

時代	年代	西暦	主な出来事	市内の主な遺跡	令和6年度調査遺跡	
原始	旧石器時代		大陸と地続き、大型の動物が生息する	小石川遺跡(藪川)		
	草創期	12,000年前	土器の使用がはじまる	大新町遺跡(大新町)		
		早期	8,000年前	定住化がすすむ	館坂遺跡(前九年) 庄ヶ畑A遺跡(上米内) 大新町遺跡(大新町) 日戸遺跡(日戸) 新茶屋遺跡(山岸) 上八木田遺跡(新庄) 畑遺跡(上米内)	大新町遺跡(大新町)
	前期	6,000年前	気候の温暖化、海面の上昇 漁労の発達、各地に大型住居が出現	【県史跡】大館町遺跡(大新町) 柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢) 大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内) 菟内遺跡(繫) 上平遺跡(猪去)	大館町遺跡(大館町)	
		中期	5,000年前	各地に大規模な縄文集落が発達	川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(川又)	
	後期	4,000年前	気候の寒冷化 ストーンサークルがつくられる		右京長根遺跡(緑が丘)	
		晚期	3,000年前	東日本で亀ヶ岡文化が栄える		
	弥生・古墳	弥生時代	紀元前 2,000年前	水田耕作の開始 金属器の使用が始まる	繫VI遺跡(繫) 一本松遺跡(下米内)	
		古墳時代	57	倭の奴国が後漢の光武帝より印綬を賜る		
			239	邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを出す ヤマト政権、統一進む	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸)	
飛鳥時代		1,400年前	593 聖徳太子が摂政となる 645 大化の改新	上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻)		
		1,300年前	710 平城京に都をうつす 724 多賀城が築かれる	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 釜崎遺跡(好摩)		
奈良時代		774	陸奥国38年戦争始まる(~812年)	西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(永井)	西鹿渡遺跡(三本柳)	
		1,200年前	794 平安京に都をうつす 胆沢城(802)志波城(803)徳丹城(812)が築かれる 894 遣唐使が停止される	館・松ノ木遺跡(上太田) 【国史跡】志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 芋田遺跡(芋田) 稻荷町遺跡(大館町・稻荷町) 内村遺跡(下飯岡)	下永林遺跡(津志田)	
平安時代		1,000年前	1016 藤原道長が摂政となる 1051 前九年の戦い(~1062年) 1083 後三年の戦い(~1087年) 1124 中尊寺金色堂完成 1189 奥州藤原氏滅亡		木節遺跡(上飯岡)	
		鎌倉時代	800年前	1192 源頼朝が征夷大將軍となる 文永の役(1274) 弘安の役(1281)	大宮遺跡(本宮) 堰根遺跡(浅岸) 台太郎遺跡(向中野) 落合遺跡(下米内) 里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 日戸館遺跡(日戸) 下田館遺跡(下田)	
中世・近世		室町時代	1336	南北朝に分かれ、対立する		
	1338		足利尊氏が征夷大將軍となる			
安土桃山時代	600年前	1404 足利義満、明との貿易を開始する 1467 応仁の乱				
	江戸時代	1588	南部信直が志和郡を攻略する 1590 豊臣秀吉が天下を統一する 1603 徳川家康が征夷大將軍となる 1641 鎖国の体制が固まる	【市史跡】玉山館遺跡(玉山) 【国史跡】盛岡城跡(内丸)	【国史跡】盛岡城跡(内丸)	
近代	明治時代 大正時代	1853	アメリカの使節ペリーが浦賀に来る	南部家墓所(北山) 山蔭窯(茶畑)・花古窯(新庄)		
		150年前	1867 大政奉還 王政復古の号令 1923 関東大震災			



第42回埋蔵文化財調査資料展

# 盛岡を発掘する

— 令和6年度調査速報 —

令和7年 **3月1日(土)** ~ **5月18日(日)**

令和6年度調査成果報告会 令和7年3月2日(日) 13:30 ~ 16:00

会場：当館研修室(定員80名)、入場無料

報告遺跡：大新町遺跡、右京長根遺跡、木節遺跡、国史跡 盛岡城跡(予定)

募集方法：2月4日(火) 10:00 ~ 電話受付(先着順)

盛岡市 **遺跡の学び館**

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1  
TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605

だいしんちょう  
**大新町遺跡**

**第90次調査（大新町）**

盛岡駅から北西に約2.4kmの雫石川北岸の台地南縁部に立地する遺跡です。

この台地南縁部には、縄文時代～奈良・平安時代の集落遺跡を中心とする「大館遺跡群」が分布しており、大新町遺跡もそのひとつです。過去の調査では、縄文時代草創期～早期、縄文時代中期や平安時代の遺構・遺物も見つっています。

今回の調査では、縄文時代早期の遺物包含層が見つかりました。遺物は、押型文土器や貝殻文土器などの縄文時代の早期の土器片と、石器が出土しました。



貝殻文土器

うきょうながね  
**右京長根遺跡**

**第5次調査（緑が丘）**

盛岡駅から北北東に約3.4kmの北上川東岸の丘陵地に所在する遺跡です。遺跡を含む周辺の地域は丘陵を流れる沢の開析により、起伏の多い地形になっており、近隣の西黒石野遺跡や黒石野平遺跡では、過去の調査で縄文時代のTピット（陥し穴状土坑）が見つっています。

今回の調査では、過去の試掘調査で、Tピットの存在が確認されていた場所で、12基のTピットが見つかりました。遺物は、縄文時代後期の土器片と石器が出土しました。



Tピット

きつぶし  
**木節遺跡**

かみいいおか  
**第7次調査（上飯岡）**

盛岡駅から南西に6.1kmの、上飯岡地内に所在し、遺跡西方の丘陵地から流れ出る河川によって形成された扇状地上に立地しています。古くから平安時代の須恵器窯跡由来の遺物が採集され、窯跡の存在が予想されていました。

今回の調査では、平安時代の須恵器工房の竪穴建物跡1棟と須恵器窯跡関連の土坑1基、遺物包含層が見つかりました。竪穴建物跡には、ロクロを支えた穴がありました。遺物は、須恵器、あかやき土器、土師器などが大量に出土しました。



作業風景

もりおかじょうあと  
**国史跡 盛岡城跡**

**三ノ丸第37次調査**  
本丸第44次補足・第47次調査（内丸）

盛岡城は、初代盛岡藩主南部信直と、二代藩主利直が約40年もの歳月をかけて築き上げた平山城です。明治初期に江戸時代の建物のほとんどは取り壊され、明治39年(1906)に「岩手公園」として開園、昭和12年(1937)に国史跡に指定されました。

三ノ丸地区では、北面石垣の積上げ工事に伴い、積上げ時の記録調査を行いました。本丸地区では、本丸南部の遺構確認調査を行い、南西部では江戸時代の建物の礎石が6石、南東部では近現代の防空壕跡が見つかりました。遺物は、瓦や陶磁器などが出土しました。



本丸地区 礎石

にし か ど  
**西鹿渡遺跡**

さんぼんやなぎ  
**第46次調査（三本柳）**

盛岡駅から南東に約4.6kmの三本柳地内に所在し、北上川西岸の河岸段丘上に位置する古代の集落遺跡です。過去の調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡、溝跡、土坑などが見つっています。

今回の調査では、奈良時代(8世紀)の竪穴建物跡1棟が見つかりました。竪穴建物跡は後世の耕作等によって大部分が壊されており、建物の床面で火を焚いた地床炉と考えられる遺構の一部が残るのみでした。地床炉付近からは、土師器甕、土師器坏などの遺物が出土しました。



土師器甕

おおだてちょう  
**県史跡 大館町遺跡**

**第91次調査（大館町）**

盛岡駅から北西に約2.5kmの大新町・大館町地内に所在する、縄文時代中期を主体とする遺跡です。

今回の調査では、縄文時代早期・中期の土坑・遺物包含層が確認されました。



土坑

しもながばやし  
**下永林遺跡**

つしだ  
**第12次調査（津志田）**

雫石川と北上川右岸の沖積段丘上に位置する遺跡です。昭和10年(1935)、畑の耕作中に蕨手刀が出土したと伝えられ、昔は蝦夷の塚が複数あったと言われています。

今回の調査では、遺構・遺物は確認されませんでした。

**令和6年度  
発掘調査遺跡**

